



SOSHIN

BUSINESS REPORT

かごしまの食と農林水産業の 現状と可能性を探る

(第22回) 直売所は多様な生産者と消費者の交流拠点

地元農畜産物や水産物、農林水産加工品等を販売し、地元で取れた食材を使った食事を提供するレストランも併設した直売所や物産館が県内各地にある。地域の大小さまざまな生産者や食品加工業者が持ち寄り、店内には地域で取れたばかりの新鮮な野菜や魚介、加工品が並べられている。生産者が直接販売するケースや、道の駅に併設された直売所もある。直売所や物産館を訪れると、その地ならではの食文化を知り、新しい発見の喜びもある。町内外の客でにぎわう直売所は地産地消や地産外消、さらには農林水産業の6次産業化の拠点、生産者と消費者の交流拠点としても機能し、農村地域の活性化にもつながっている。直売所や物産館の効果や可能性について見てみた。

01. 道の駅に隣接した外資系ホテル 特産品を集めた「かご市」が人気

垂水市浜平の鹿児島湾に面した地に立地する「道の駅たるみずはまびら」。2018年11月オープン、220台収容の駐車場を備え、物産館のほかにレストラン、カフェなどが入居し、地元の有志7人が共同出資した(株)垂水未来創造商社が運営する。物産館では地元産の新鮮な農水産物や加工品などを販売しており、サツマイモ「紅はるか」の焼き芋や干し芋が甘くておいしいと人気を集める。

道の駅に隣接して今年7月12日、外資系ホテル「フェアフィールド・バイ・マリオット・鹿児島たるみず桜島」(客室95室)が開業した。運営するマリオット・インターナショナルは世界140カ国・地域に「シェラトン」など30ブランド8100に上るホテルネットワークを張り巡らせている。その一つ「フェアフィールド」は、積水ハウスが建物を建て、マリオットが運営する方式による地方創生事業「Trip Base (トリップベース) 道の駅プロジェクト」として2020年から全国展開。垂水は全国25軒目、九州初となる。

「地域の知られざる魅力を渡り歩く旅の拠点となる宿泊特化型ホテル」として館内にレストランや土産物店などはない。道の駅に併設する直売所・物産館・レストランの利便性、集客力に着目し、宿泊客の食事や買い物は道の駅や地域の店を利用してもらい、地域経済活性化の一翼を担うことを目指す。

鹿児島市天文館で県内各地の特産品を集めて販売する県商工会連合会運営の「かごしま特産品市場かご市」は今夏、観光客やお盆の帰省客でにぎわった。かご市では離島も含めて鹿児島市内で入手しにくい県内38商工会から集めた特産品1400種類以上を販売している。2014年6月、はいから通りにオープンし、当初2015年3月までの期間限定ショップの予定だったが、好評だったことから同年4月にははいから通りと天文館本通りが交差する現在地に移転、順調に売り上げを伸ばしている。天文館ではかごしま市商工会が運営し、谷山・吉田・桜島・喜入・松元・郡山地区で生産・製造された特産品を扱う「天文館まちなちの駅ゆめりあ」もあり、こちらも好評だ。かご市では売れ行きの悪い商品は頻繁に入れ替え、販売終了した業者には専門家派遣などで商品のブラッシュアップをサポートする。

02. 安心・安全など消費者に好評 6次化で生産者独自の直売所

県農村振興課のまとめによると、2021年12月末現在、県内の有人直売所は、鹿児島地域30、南薩20、北薩22、始

良・伊佐30、大隅14、熊毛4、大島23の計143カ所に上る。道の駅は鹿児島2、南薩4、北薩4、始良・伊佐1、大隅10、大島1の計22カ所。

直売所・道の駅の中でも2003年4月、日置市東市来町に開設され、江口漁協が運営する「江口蓬莱館」は入店者や売上高で県内トップクラスを誇る。江口漁港に水揚げされたタイやイカなどの鮮魚とちりめんじゃこなどの水産加工品、地元産の新鮮な農産物と加工品などを販売している。併設するレストランでは新鮮な地魚を使った刺し身定食や煮魚定食、にぎりずしなどの定食が好評。すぐ横が江口浜の砂浜で、ウッドデッキに出てアウトドア気分でもできる。鹿児島市に近く、海風に浸食されたシラスの崖が続く独特の景観を見せる江口蓬莱や海辺があり、サーフィンやレジャーにも最適のスポットにある直売所として人気が高い。

2004年11月、曾於市末吉町にオープンした「道の駅すえよし」の直売所「四季祭市場」は、地元農家から持ち込まれる新鮮な野菜のほか、特産のユズを使ったドリンク、マーマレード、ゆずごしょうなどユズ加工品が豊富にそろい、畜産の盛んな土地柄を反映して黒牛・黒豚肉も販売している。レストランで提供される地元食材を使った数十種類のメニューをそろえたランチバイキングは行列ができるほどの人気を集める。国内旅行雑誌「九州じゃらん」が読者を対象に行った2015年の九州・山口の道の駅(138カ所)満足度ランキングではレストラン部門で1位に輝いている。

2021年度そうしんSDGsアワード大賞を受賞した(株)無垢が2019年12月から運営している霧島市隼人町の日当山西郷どん村の物産館では、地元農家の新鮮・多彩な野菜のほか、



市内を中心に県内外の安心安全で体や地球に優しい商品、フェアトレードや福祉作業所の商品、農薬・化学肥料不使用の地元農家の大麦や大豆、市内の保育園児たちが昔ながらの製法で造ったみそなど、こだわりの農産物・農産加工品等が好評。併設するレストランは、季節を細かく分けた二十四節気を意識した地元で育った旬の食材を中心に使った料理を提供するなど、安心安全のイメージ定着に注力している。

生産者自らが独自に直売所を立ち上げて生産物や加工品を販売するケースも増えている。鹿屋市の畜産農家・ふくどめ小牧場では、脂身がおいしいオリジナルブランド豚「幸福豚」を使った約30種類のハム・ソーセージや総菜を製造し、牧場近くの直売所で販売する。併設するカフェレストランでは、パンと中身のハム・ソーセージ・ベーコンを数種類から選べるサンドイッチプレート、メインをハンバーグなど4種類から選べるライスプレートなどが評判。客は遠く薩摩半島からも訪れる。2022年度農林水産祭では、希少豚の育成から加工販売までを手がけ、地域振興に貢献しているとして多角化部門の日本農林漁業振興会会長賞を受賞した。

約35ヘクタールの農場で障害者の自立・就労に取り組む南大隅町の花の木農場では、農作物の生産から養豚、ハム・ソーセージや豆腐など加工品の製造まで手がけ、農場併設の直売所で販売し、食事処で名物のとんかつ料理などを提供している。40年以上にわたって農福連携に取り組み、加工品販売やレストラン経営を通じて交流人口拡大に貢献したことなどが評価され、地方新聞46紙と共同通信社が表彰する2022年度の地域再生大賞を受賞した。



03. 生産者の意欲や所得向上に効果 交流人口拡大等で地域を活性化

直売所や物産館は、生産者自らが価格決定権を持つことで生産者の意欲と所得向上をもたらす効果がある。地域内外から消費者を呼び込む力もあり、交流人口拡大や地域外からの収入増大、雇用創出、地域の活性化にもつながっているほか、大小農家の生産者が農産物や加工品を持ち寄ることで地域コミュニティも維持している。

直売所や物産館は1次産業の農林水産業と、2次産業の加工製造、3次産業の販売・サービス業の融合の場であり、地域内での6次産業化のモデルともいえる。消費者の食の安心安全への意識が高まる中で、生産者と消費者の交流拠点としても位置づけられる。2014年10月には県内85の直売所が参加して「直売所ネットワークかごしま」が発足。レジャーを兼ねて直売所の回遊を楽しんでもらおうと、賞品を用意してスタンプラリーを実施するほか、各種研修会等を通じて直売所の運営活性化に向けた取り組みを支援している。

人口約1200人の高知県馬路村でユズ加工品など特産品の開発・販売を手がけ、数十億円もの売上高と全国に「ゆずの村」として有名にした松崎地域計画本舗代表の松崎了三氏は、そうしん主催の「かごしま食&アグリ・マッチングフェア2011」特別講演会で、「食を通じた地域活性化を目指して」と題し次のように語っている。

「知らない村の特産品や知らない店の商品は売れない。知らない町に観光客は来ない。売れる理由はその店や地域について情報やイメージがあること。イメージは情報があるから。地域のイメージをつくらないとその特産品は売れない」「価値はどんどん変わっていく。店は常に成長して提案がないと確実に価値は下がる」「物流の発達で遠隔地にモノが運ばれるようになり、生産者と消費者がだんだん遠ざかってきた。産地偽装もそんな背景で生まれた。作り手と買い手を近づけている直売所は売れている。作ること、加工すること、売ることをもっとお客に近づけよう」「モノ余りでどうしても欲しいものがない時代に、価格競争ではなくお客が満足するようなものを作らないといけない」。

『写真キャプション』

- 1 道の駅に隣接する「フェアフィールド・バイ・マリオット・鹿児島たるみず桜島」
- 2 道の駅すえよしの四季祭市場ではユズ加工品や黒牛・黒豚肉が好評
- 3 霧島市の日当山西郷どん村の物産館は安心・安全の農産物・農産加工品が評判
- 4 同施設のレストランでは旬の地元食材を使った料理を提供

TVドラマ「ファーストペンギン」 水産業への関心の高まりに喜び

— 昨秋、坪内さんをモデルにした連続ドラマ「ファーストペンギン」がテレビ放送されました。ドラマ化のきっかけは何か。

ドラマは2017年に発行した著書「荒くれ漁師をたばねる力〜ド素人だった24歳の専業主婦が業界に革命を起こした話〜」と22年発行の「ファーストペンギン〜シングルマザーと漁師たちが挑んだ船団丸の奇跡〜」が原作となりました。

10年、山口県萩市の沖合8キロに浮かぶ萩大島の漁師さんたちをまとめて「船団丸」ブランド第一号となる「萩大島船団丸」を立ち上げ翌年、農林水産省から6次産業化の認定を受け、漁獲した魚を漁師自ら処理・加工して飲食店や消費者に届ける事業をスタートさせました。14年にGHIBLIとして株式会社化し、萩大島だけでなく全国各地の漁師さんらに呼びかけて「船団丸」ブランド事業の全国展開を進めています。この取り組みがいろんなメディアで取り上げられて話題となり、「荒くれ…」の本を読んだ日本テレビのプロデューサーから話をいただき、ドラマ化されました。

— ドラマの反響は大きかったのではないですか。

ちょうど「ファーストペンギン」のテレビ放送期間中にGHIBLIの通販サイトがオープンしたのですが、全国から注文が相次ぐなど大きな反響がありました。リリースはしなかったのですが、化学物質過敏症などを知ってもらえて間口が広がりました。

ドラマを通して多くの方に水産業に対する理解を深めてもらえました。今回、鹿児島に来る飛行機で隣に座った方がたまたまドラマを見ていて、魚の廃棄物を農林業用の肥料に戻すプロジェクトに取り組んでいることを報道番組で知り、関心を持ったそうです。私たちの取り組みで、多くの方の関心が海だけでなく山や川など自然、1次産業に向ききっかけになればうれしいです。

ペンギンは常に集団で行動します。その群れになんらかの危険が迫った場合、いち早く察知してリスクを恐れず最初に行動する一羽のことをファーストペンギンと呼ぶそうです。私一人がやるのではなく、「ファーストペンギンズ」とSが付くのが正しいのかなと思います。GHIBLIの事業に参加している人たち、私の講演を聴いていただいた方々の方で世の中が変わっていったらと思います。

「六次産業化法」施行を受け 萩大島にて船団丸事業がスタート

— 萩大島で船団丸事業を始めるまでの経緯をお聞かせください。

私は1986年、福井県生まれです。幼稚園のころ、船乗りになって海外に行きたいと母に言うと、女は船乗りになれないと言われてきました。じゃあパイロットと言うと、目が悪いとなれない、スチュワーデス（CA=キャビンアテンダント）になったらいい

ビジネスレポート特別インタビュー

坪内知佳

株式会社GHIBLI代表取締役

に聞く

そうしんブレーン“21”講演会が6月、城山ホテル鹿児島で開催されました。講師は、株式会社GHIBLI（本社・山口県萩市）代表取締役の坪内知佳氏。全国各地で取れた魚を中心に「船団丸」ブランドの直販事業をメインに展開しています。日本テレビ系で2022年10～11月に放送された、漁業の活性化に挑む女性を描いたドラマ「ファーストペンギン」（日本テレビ系）の主人公のモデルにもなりました。「地域活性化にける！～なぜ激しいバトルを乗り越え奇跡を起こせたのか？～」と題して講演していただいた坪内氏に、船団丸事業のきっかけや思い、将来の展望などについてお聞きしました。



と言われました。CAになるために外国語を勉強しようと15歳で台湾に短期留学しました。台湾で同級生たちが休み時間に徴兵制度について話をしているのにショックを受けました。その後、オーストラリア、カナダと留学したのですが、世界を知れば知るほど日本の平和の大切さを痛感しました。

カナダで1週間、40度を超える高熱が続いた後、38度台が1カ月、37度台が3カ月から半年続きました。洗剤とかいろいろな化学物質に過剰反応する化学物質過敏症です。名古屋外国語大学に入って間もなく悪性リンパ腫と診断されました。実際は感染症だったのですが、生死をさまよう中で後悔したのが、和食をもっと楽しめたかったことと、誰かの記憶に残る生き方をしたかったということでした。

その後、大学を中退し結婚して萩市に移住し出産、離婚を経験しました。翻訳とコンサルタント業の事務所を開き、旅館で仲居さんの指導にあたっているときに萩大島の漁師との出会いがあり、島内の3つの船団から月1万円ずつもらいながら船団の経営を5カ年で立て直す計画書を半年間で作成することにしました。2011年3月施行の農林水産省の「六次産業化法」に基づいて漁師が加工、販売までを手がける6次産業化計画を提出し水産における全国第1号で認可され、事業が始まりました。

漁師たちが取れたての魚をストレスのない状態で血を抜き、腹わたやウロコを取って箱詰めし、船団丸ブランドで直接お客さまに販売する事業です。さまざまなトラブルや妨害がありましたが、販売先のレストランからの細かなオーダーにも丁寧に対応していくことで次第に顧客が広がりました。ときには漁師と一緒にレストランを訪れ、自分たちの魚を使った料理を食べ、シェフと会話することで漁師のモチベーションアップにもつなげました。

波風が立つことに感謝しながら壁に当たったら引き返して再起

— 病気や大学中退、離婚、船団丸事業でのトラブルなどいろんな壁に当たって、立ち直っていく原動力、ベースの考え方は何ですか。

私の中では挫折という感覚はありません。犬も歩けば棒に当たることわざのように、トラブルがあるということは事業が進んでいる証拠でもあります。波風が立つことに感謝しようという思いで日々取り組んでいます。

壁にぶつかって、その先に道のないところで立ち止まって悩むということはしません。ちゅうちょせずに引き返して新たな道、土地を探して一歩前に踏み出していくようにしています。常に一歩前に進む続けることが私の生き方で、胸に刻んでいるのがGHIBLIの社是にもなっている「至誠天通」の言葉です。何事も誠を尽くしていけば天に通じて道は開けると確信しています。

もしCAになっていたら決まった空路を飛んでいました。今はビジネスとして船団丸の魚や日本の水産物輸出に取り組んでいます。行きたいところに行けるので、結果的に自分になりたくてしたかった人生を生きていると思います。

ミッションは「自然との共生」 幸せな未来を子どもたちに渡す

— GHIBLIではどんな事業を展開しているのですか。

最初の5カ年計画から5年後、GHIBLIでは旅行業の許可を取りました。全国各地から訪れる視察に対応するためです。その中で船団丸に属する船などの見学、漁師飯の試食など、島の暮らしを体験できるスタディツアー「V!V!V!旅(びびびたび)海旅」と、きこりの毎日を体験できる同ツアー「びびび!たび!山旅」に取り組んでいます。6次化のノウハウを生かしたコンサルティング業のほか加工品開発、オンライン教育などさまざまな事業も展開しています。

保存料に頼らず手間暇かけた食品を販売する「SENDAN-MARU」ブランドは現在、全国で魚が11、野菜が2、マグロが1カ所の14カ所展開しています。鹿児島県内では「薩摩川内船団丸」と農作物の「鹿児島まるごと船団丸」があります。魚だけ、野菜だけ、林産物だけではなく、1次産業の生産者をつないでいく役目を果たしていきたいと考えています。

「The World Alliance」(ザ・ワールドアライアンス)という事業は、オンラインで各国の講師から国の紹介を聞いたり、外国語で会話したりすることを通じて、疑似旅行・留学体験を提供しています。2021年のコロナ禍で一般公開を始め、現在は法人で導入しているところがあります。「Euripides」(エウリピデス)は、これまで価値が低く設定されていた規格外の真珠をブランド化し販売する事業です。

— GHIBLIのミッション、今後の展開についてお聞かせください。

ミッションは自然との共生です。大量消費の結果、温暖化や潮流のねじれ、海洋環境変動を元に戻すためにできる限り最善を尽くしていきたいという思いの下、全国に水産物と農産物の船団丸ブランドを拡充していきたい。海のない県もありますが必ず川はあります。海は山や畑から川に流れ出た養分の影響を受けています。海のブランドだけでなく農産物や林産物を船団丸ブランドとして一部フランチャイズもしながら全国展開して、日本の1次産業、自然、環境のために取り組んでいきたいと考えています。

GHIBLIはイタリア語で、サハラ砂漠から地中海に吹く熱風や突風を意味しています。世界の海に向かって熱い思いの風を吹かせようという思いを込めています。「バタフライエフェクト」という言葉があります。ある場所で小さな変化も地球の裏側では大きな変化を生むということです。私たちのささやかな事業が大きくなりなれたらと願っています。

大人の役割は、子どもたちの幸せな未来のために何かを残していくこと。消費して食いつぶしていくのではなく、次にバトンをつなぐことが大事です。これからも自然との共生を目的としたビジネスを展開し、安全な食材を送り続ける仕事を続けていきます。環境問題についてもコツコツとみんなで考えて実践していくしかありません。それを私は続けていきたいと思っています。

地域おこし最前線

トップに 聞く

各市町村の市長や町長へ取材し、魅力を伝える！

第9回

いちき串木野市

■所在地

〒896-8601 いちき串木野市昭和通133番地 1 ☎0996-32-3111(代表)



■いちき串木野市長
中屋 謙治



■市章

「い・く」の文字をモチーフに新市の恵み豊かな自然環境のイメージと歴史文化を背景に躍動・飛翔する人の姿を併せてデザインしています。

■市の花

サクラ

■市の木

マツ

■総面積

112.30km²

■人口と世帯数 (令和5年8月末現在)

男性	1万2411人
女性	1万3812人
合計	2万6223人
世帯数	1万3085世帯

■歴史

1889(明治22)年に串木野村、西市来村が発足
1930(昭和5)年に西市来村が町制施行、市来町に
1935(同10)年に串木野村が町制施行、串木野町に
1950(同25)年に串木野町が市制施行、串木野市に
2005(平成17)年10月に旧串木野市と旧市来町が
合併、いちき串木野市としてスタート

2023年度を人口減少・少子化緊急対策元年に 保育料無償化や若者の結婚支援等

いちき串木野市の人口は2005年10月の合併当時の3万3000人から現在(23年)は2万6000人と減少し、さらに40年には1万9000人が予測されている。全国を上回る少子化傾向が続いており、21年の出生者数は110人と10年前(221人)の半分。コロナ禍の影響も考えられ、22年はやや回復して132人となったが、23年1~8月は76人と、昨年同期(91人)と比べると再び落ち込んでいる。そんな中、同市は今年度を「人口減少、少子化緊急対策元年」と位置付け、子どもと若者中心の施策を重点的に実施している。少子化の主な要因に結婚の減少と若者の未婚晩婚化、男女の性別役割分担意識と経済的側面を挙げ①0~2歳時の保育料無償化、②若者の結婚支援、③イクボス企業応援助成金等の施策を進める。

「わが国の少子化は極めて急速に進んでおり、危機的、深刻な状況です。私はかねてから人口減少対策として、他市町村との若者や移住者の奪い合いではなく、子どもが生まれる環境を整えることでわがまちだけでなく国全体で増える施策をしないと駄目だと言ってきました。要因はさまざまですが、私は二つ指摘したい。一つは結婚が少ないこと、若者の未婚晩婚化。それに男女の性別役割分担意識があり、女性が働くのが一般的になっている中で仕事も子育ても家事も介護も女性が担うとなると、子どもを産まない、産めないということになる。そこで、若者の未婚晩婚化対策と男女の性別役割分担意識の解消に絞った対策に取り組むことにしました。

「0~2歳児の保育料無償化で、国が既に実施している3歳以降も含めて未就学児の保育料の完全無償化を今年4月から実現しました。0歳児から保育園に預けられることで経済的な側面だけでなく、お母さんたちの精神的なゆとりもできるのもう一人産みたいと思える効果があると考えています」。

若者の結婚支援では、市内だけのマッチングでは母数が少ないので県全体に広げるため鹿児島市の結婚支援センターにも登録したほか、民間の婚活アプリや結婚相談所を活用しようと民間の登録料を最大10万円補助している。男女の役割分担意識の解消では、男性が育児休業を取得したら期間に応じて最大25万円の助成金を企業に支給している。

「男性の育児休業取得をまずは市役所で率先して取り組もうと、昨年4月に市役所で『イクボス宣言』を行ったところ、7割ほどの男性が育児休業を取得する流れが出てきました。この流れを民間の事業所でも広げようという施策で、育児休業に対する職場の理解と協役に役立ててもらいたい」。

奨学金制度で応援しUターン促進 薩摩スチューデント奨学プログラム

いちき串木野市と鹿児島相互信用金庫は今年3月、「薩摩スチューデント奨学プログラム」に関する連携協定を結んだ。幕末期に先進的な技術等を学ぶために串木野・羽島から英国に渡航し、帰国後は明治の日本を支えた薩摩スチューデントのように、進学等により同市から転出しても、さまざまな学びを身に付けてUターンしてくることで地元の成長に貢献できる人材を確保し、持続可能な地域社会づくりを目的としたプログラム。支給額は高校が毎月3万円、大学等が5万円で、今年8月にスタートした。

「経済的理由で進学をあきらめることがないよう、本市の子どもたちを奨学金制度で経済的に応援していきます。優秀な若者がよそに出て学び、卒業後に戻ってきて地元で活躍してほしいとの思いから、卒業後10年以内に帰ってきた場合は償還分を市が助成して実質的に奨学金の返済を免除する制度です。高校から大学までだと最長7年間で350万円ほどになります。併せて日本学生支援機構や鹿児島県育英財団などの奨学金も対象にしています。現在、企業からの寄付金2000万円を基金として積んでおり、今後さらに造成していきます」。

食を核にしたまちづくりを推進 食の海外販路開拓事業にも注力

いちき串木野市の遠洋マグロ漁船の船籍数は岩手県気仙沼市と日本一を競っており、「マグロのまち」として知られる。市内には6社8蔵元の焼酎工場があり、県内では霧島市に次ぐ「焼酎のまち」でもある。このほか、つけあげ、ちりめん、ポンカン、サワーポメロなどの特産品をはじめ食材が豊か。2010年には「食のまちづくり宣言」を行って「食のまちづくり条例」を制定し、食を核にしたまちづくりを推進している。

「串木野つけあげは、鹿児島のおまつりの中でのトップブランドだと自負しています。大阪の京セラドームで毎年春に行われる関西鹿児島県人会総連合会主催の関西かごしまファンデーでは、県内各市町村から持ち寄った特産品が出され、つけあげも各地から並べられるが、串木野つけあげのコーナーを指名して購入していただく声が多いと聞くとうれしくなります。焼酎に関しては13年、宴会ではまずは焼酎で乾杯しようとして『本格焼酎で乾杯条例』を全国で初めて制定し、焼酎文化の普及に取り組んでいます」。

15年度からシンガポール見本市への特産品の出展や市場調査を実施し、18年度から現地イベントへの出展やバイヤー誘致、コロナ禍ではオンライン商談会を実施するなど食の海外販路開拓事業を進めている。22年度からはトライアル輸出事業を実施し、台湾などでの販路開拓に取り組んでいる。

「昨年10月にシンガポールで実施した料理フェアでは、サワーポメロを使った料理が好評でした。特に地元の焼酎をベースにしたサワーポメロのカクテルが人気で、通年で輸出できる体制づく

りを要望されました。人口規模が小さいので、食材が豊かといってもロットがそこまで大きくないのが現状です。15年度から市独自でいろんな形で挑戦して可能性があるのは分かりましたが、近隣市町や県全体など大きな形でくらないと次の展開は難しいと感じています。経済ベースに乗せるための新たな取り組みを考えたい」。

2040年のまちを考える会で議論 沖合の洋上風力発電に大きな期待

2022年度に発足した「2040年のまちを考える会」では、若い人を中心に一般公募した市民、商工会、商工会議所、漁協関係者ら16人のメンバーで将来のまちづくりを議論している。

「考える会は、21年11月の市長選に立候補するに当たって、マニフェストとして打ち出しました。年ごとの変化はさほど大きくないが、時間軸を長期スパンで見ることではわがまちはどうなっているだろうか考えてほしいと、あえて20年後のわがまの姿をイメージしながら今から取り組むべきことを議論しています。その中で少子化に伴う小中学校の統廃合、高齢者の増加で健康寿命を伸ばすために必要なことなどについて話し合っています」。

再生可能エネルギーの主力電源として注目される洋上風力発電だが、いちき串木野市の沖合では3事業者による計画が進められている。市では22年度、漁業関係をはじめ住民代表、商工業、学識経験者らの「市洋上風力発電調査研究協議会」を設置。洋上風力発電の環境、地域経済や漁業、景観などへの効果や影響などについて調査、勉強会、先進地視察、シンポジウム開催などを進めている。

「地球温暖化が叫ばれる中で今われわれは何をやらないといかないか考えた時、幸いに本市の沖合で風力発電の調査が進んでいます。最大限の可能性を探ろうということで協議会を立ち上げました。エネルギーだけでなく、着床式だと土台が魚礁にもなることから、当初は沿岸漁業の皆さんから不安の声もありましたが、早く造ってほしいと協力的です。この海域は有望だと国に情報提供してほしいと県にお願いしています。計画が実現すれば産業拠点化、串木野新港の拡張整備、背後の第2期埋め立て計画の可能性も広がるということで計画実現に期待しています」。

いちき串木野市の 名産と観光スポット

有したことや、基幹産業の遠洋漁業により、常に海を介して外との関わりがあったことから、独自の食文化が根付いてきました。

食の魅力に加えて歴史と自然が織り成す趣も豊か。徐福伝説とともに南九州山岳仏教発祥の地といわれ、県内有数の紅葉スポットで知られる霊峰・冠岳をはじめ、幕末に命がけて英国に密航した留学生らを顕彰する薩摩藩英国留学生記念館など見所が多いです。毎年4月開催の浜競馬大会と東シナ海に沈む美しい夕日で魅了される照島海岸、赤い太鼓橋でつながる照島神社もお薦めです。



そうしんSDGsアワード優秀賞！ 山中醤油株式会社

そうしんSDGsアワードとは

鹿児島相互信用金庫はSDGs（持続可能な開発目標）の優れた取り組みを表彰し、さらなる取り組みの支援と県内中小企業への普及促進を図るため令和3年度に続き「令和4年度そうしんSDGsアワード」を開催した。2022年10月に行われた最終選考会では、そうしん営業店が推薦した50件のうち書類選考を通過した8社・団体が活動内容を披露。選考委員（委員9人、委員長=津曲貞利・日本ガス社長）による審査の結果、山中醤油株式会社が優秀賞を受賞した。

山中醤油株式会社

山中醤油株式会社（村山立樹社長）の設立は2021年2月。村山社長は東串良町の醤油会社で工場長を務めていたが、勤務先の会社が20年9月、醤油の製造を休止することになり、「地元の醤油文化を守りたい」と県内外から寄付を募って自ら会社を立ち上げた。山中醤油では飲食店など取引先と作り手による「共同創造」でさまざまな醤油を製造・販売する醤油部門のほかにデザイン部門も設置。企画・デザイン関係の仲間と共に工場兼店舗を会場に地元特産品フェアなどの開催、イベント企画演出、WEBサイト・映像制作、店舗デザインなど地域文化向上にも取り組んでいる。



山中醤油株式会社：
肝属郡東串良町岩弘33-1
(☎0994-45-4962)



山中醤油株式会社
代表取締役社長 村山 立樹

「令和4年度そうしんSDGsアワード」で山中醤油(株)が優秀賞を受賞しました。地元の醤油文化を守ろうと、資金・場所・時間が足りない中、地元を中心にさまざまな職種の仲間呼びかけて会社を設立し、農業用倉庫をリノベーションして工場兼店舗を開業。醤油製造だけでなく、誰もが自己表現できる場にしようとして定期的にイベントを開催するほか、東串良町・大崎町・志布志市の空き家対策や商店街活性化、文化財活動など地域課題解決にも取り組んでいます。村山立樹社長（41）に会社設立のきっかけや事業内容、今後の展開などをお聞きしました。

地域の食文化を支える醤油 協力金で会社設立や工場開設

—東串良町の醤油会社に勤めた経緯をお聞かせください。

私は大崎町出身で鹿屋高校卒業後は東京でフリーの芸術関係者の集まりでディレクション演出の仕事をしていました。都内で大島紬展示会のオペレーションなど鹿児島の仕事を請け負ううちに地元で何か文化的な仕事をしたいと思い、鹿児島で知り合った経営者達に相談している中で、縁があって、たまたま醤油会社に勤めるようになりました。

それまで醤油への関心・興味は全然なかったのですが、鹿児島県は醤油屋さんが多く地域の食文化に密着していて、地域で好まれる味付けのベースになっています。地元の伝統料理、おふくろの味を地元の醤油が支えていることが分かり、働いているうちに醤油屋の仕事にのめり込んでいきました。

—山中醤油として独立、会社を設立したきっかけは何ですか。

2013年から勤めていた醤油会社で工場長をしていた20年9月、コロナ禍もあって醤油販売の見通しが立たなくなり、休止を決断されました。まだやれることがあると思い、販売代理店や飲食店、地元で知り合ったさ



農業用倉庫を改修した工場兼店舗



さまざまな職種の友人・知人らに相談したところ、いろんな人が後押ししてくれて会社をつくる決心をしました。

—会社設立や工場兼店舗開設などの資金、労力はどう調達したのですか。

資金は基本的に協力金で賄いました。私の呼びかけに県内外の23名の経営者に賛同いただき500万円ほどが集まりました。そのお金で仕入れから工場兼店舗の改装費まで賄ってスタートしました。工場兼店舗の敷地と建物は農業用資材倉庫跡です。現在は購入する前提で借りています。

2020年9月末に前の会社を辞め、10月初めに契約後すぐに改修を始め、12月には醤油の試作を始めました。21年6月に工場が完成し本格的に醤油を造り始め、店舗は9月にオープンさせました。倉庫の改修は、もともと店舗デザインの仕事をしていた、役員になるもう一人との二人を中心に行いました。他にも大勢の人にボランティアで手伝ってもらいました。会社の協力者には造形作家、カメラマン、料理人、物流、アーティスト、理学療法士、映像作家などいろんな職種の人がいます。

商品やレシピ開発、デザインも将来は麦、大豆の原料から生産

—山中醤油という会社名にはどんな思いが込められているのですか。

前の勤務先のルーツは志布志の文化財にも指定されている山中氏邸で、油や肥料、調味料を取り扱う地元の商店でした。そこから独立したのが前の醤油会社で、私は独立するに当たり志布志市教育委員会と協議し「山中」という屋号を継承しました。醤油だけでなく、地域の文化をつないでいく仕組みをつくりたい、150年前創業の山中商店としっかりつながっているという思いを込めています。

—山中醤油の醤油造りへのこだわりや特徴をお聞かせください。

添加物は基本的に減らしていく方向で進めています。お客さまの求めている味があり、しっかりヒアリングしながら造っています。飲食店や企業の商品開発の相談も多く、ドレッシングやソース、焼き肉のたれなど、取引先独自の商品、レシピ開発にも力を入れています。保存料を使わずに半年とか1年経っても味が落ちないような商品作りに力を入れています。最近では漁協のオファーで専用の刺し身醤油を開発しました。8月には東京のシーフードショーに行き、カンパチに合う醤油を展示販売しました。

当社にはレシピ開発だけでなくデザイン部門もあるので、料理の撮影からパッケージデザイン、展示会のディスプレイなどトータルで手がけています。

—主な商品を紹介してください。

当社のメインの商品は、万能だし醤油の「月白」と丸大豆醤油の「紅の八塩」です。「月白」は、枕崎産かつお節、志

布志湾産いりこ、さば節、大崎町産シイタケ、根昆布を使ってだしを取っています。これを使ったらもう離れられないというようなだし醤油を目指した商品です。

「紅の八塩」は、佐賀県から小麦、大豆のもろみで仕込んだ生揚げ醤油を仕入れて使っています。当社の醤油は基本的に霧島市の県醤油醸造協同組合が製造した生揚げ醤油を原料としていますが、10年後に小麦、大豆を契約栽培など自社で賄い、もろみから仕込むことを目指しています。「紅の八塩」はそんな思いを託した醤油です。

当社の醤油の商品名には日本の伝統色の名前を付けています。もともと私は芸術・文化に携わる仕事をさせていただいたころから伝統色に興味がありました。醤油はほぼ同じ色のように思われていますが、細かく分けられます。それを表現したいと、意味もちゃんと考えて商品名に色を使い、14色そろっています。



月白200ml(左)と1000ml

ウナギのかば焼きやおせちに挑戦 イベント開催で誰もが輝ける場所

—ウナギのかば焼きにも挑戦しています。

醤油の関連事業として、今年の5月からウナギの1次加工を始めました。地元の養鰻業者と業務提携し、加工場でさばいたウナギを醤油だれと炭火を使って手焼きでかば焼きにして納入し、当社の店舗でも販売しています。1次加工の仕事をしながら養鰻業者の販売戦略やデザインも引き受けるほか、共同で正月用のおせちを開発中です。超特大ウナギ4匹ほどと県内産の牛、豚、鶏肉などを使った試作品が9月中旬に出来上がりました。初年度は数を追うのではなくて可能性を探りたいと考えています。

—工場兼店舗ではさまざまなイベントも開催しています。

誰もが自己表現できる場所、みんなが輝ける場所にしようという思いで定期的に開催しています。音楽、コーヒー、飲食、落語など、基本的にやりたいという人はなんでもOKです。会社としての恒例イベントは、2月の創業記念祭、9月末のオープン記念祭をそれぞれ1週間ほど開催しています。

地方は人口も減って空き家や耕作放棄地が増えています。その中で一人一人が何をやるかがとても大切で、強く発信することが求められます。そういう大人が多くいて、それに子どもたちも続く環境をつくりたい。ここに集まる人たちは、自分の仕事が終わって子どもの夕食と風呂を済ませた後、山中醤油に来てイベントの準備をしたり、プレゼン資料やモノを作ったりしています。私の周りのいろんな職種の人たちが助け合い、楽しみながら何か一緒に作っていく場所になればいいなと思います。従業員にも社内起業を勧めています。来年からは県内で空き家再生事業を本格的に始める予定です。

令和5年
4-9月期

中小企業動向調査概要

◆調査の要領

- 調査対象の選定 鹿児島県内に本店を置く、鹿児島、鹿児島相互、奄美大島信用金庫のお取引先
- 調査の方法 営業係による聴取・回収、または窓口での聴取
- 調査内容 売上、収益、価格、設備、借入等について実数ではなく、経営者の感覚や判断を聴取
- 調査期間 令和5年6月上旬ならびに9月上旬の2回
- 調査票の回収状況 回答数 331件

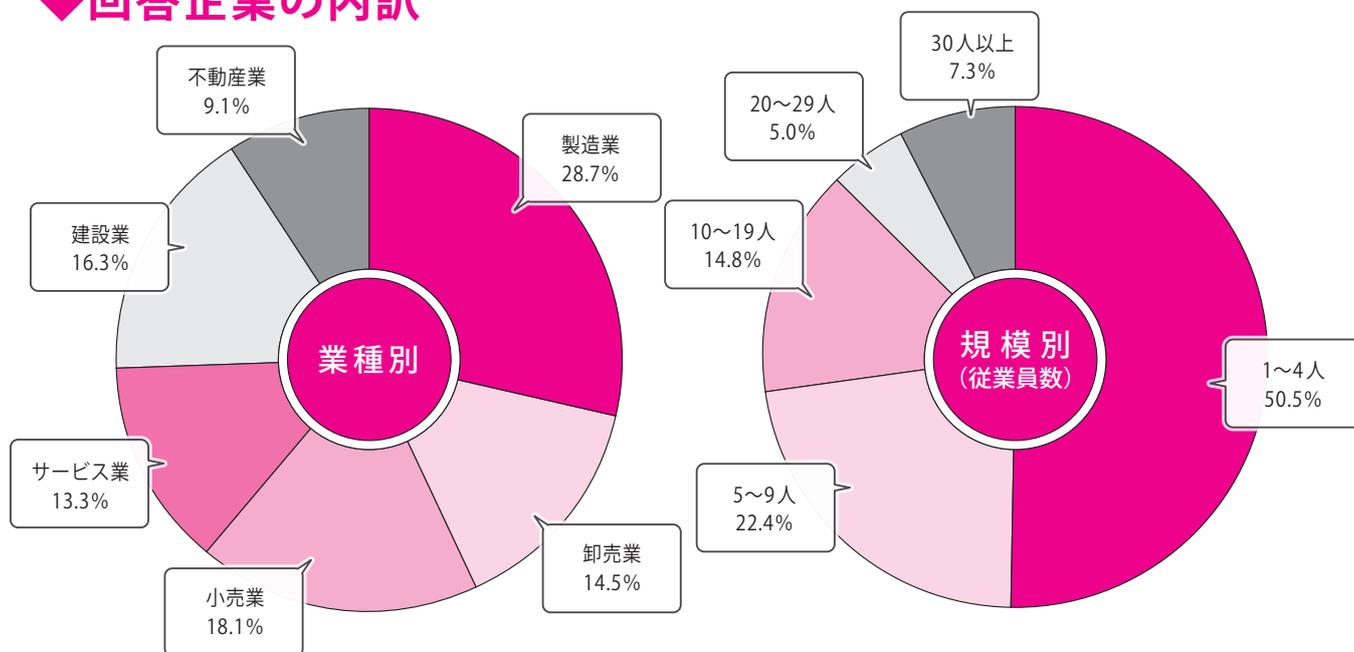
◆今回特記事項

これまで、当金庫のお取引先のみを対象として調査を実施してまいりましたが、県内の業況感を普遍的に把握することを目的として、県内3信用金庫のお取引先全体の回答をもとに調査を行いました。

また、四半期ごとの調査・集計結果を四半期ごとに公表する形から、四半期ごとの調査・集計結果を半期ごとに公表する方法へ変更しています。

なお聴取結果は、お取引いただいている信用金庫や聴取対象の企業名を特定できないよう「信金中央金庫」が入力・加工しております。信金中央金庫から提供を受けたデータを当金庫が集計・分析しています。

◆回答企業の内訳



◆景気動向判断指数について

この調査では、景気判断の基準として「D I」（Diffusion Indexの略、景気動向指数）による分析方法を用いています。「D I」とは“増加”（または「上昇」、「過剰」など）したと答えた企業割合から“減少”（または「下降」、「不足」など）したと答えた企業割合を差し引いた数値のことで、不変部分を除き“増加”したとする企業と“減少”したとする企業のどちらの力が強いかを時系列的に比べる方法です。

全業種

All types of business

業種全体としての 景況感は回復基調 (総評)

令和5年度上半期(令和5年4~6月期(以下「本年6月期」という)、および7~9月期(以下「本年9月期」という))の業況感は、本年6月期で改善、9月期は悪化という結果になった。

本年6月期における業種全体の業況判断D Iは、3.3(同年3月期▲1.2)となり、前期(本年3月期)比で4.5ポイント改善した。全体としての業況感D Iがプラスの水準まで回復したのは、令和元年12月期以降、実に3年半ぶりとなる。

なお、コロナの影響を受けにくい建設業や不動産業は、コロナ禍においても順調に推移しており、製造業・サービス業もその他の業種に先行して、本年3月期から業況感がプラス値まで回復していた。

一方で小売業については、令和5年6月期・9月期ともに業況感D Iがマイナス値を示しており、インフレによる消費の冷え込みなど、新型コロナウイルスの5類分類以降も厳しい経営環境下にあると感じている経営者が多いことが読み取れる。

売上額D Iは、令和5年6月期に同年3月期に比べて6.5ポイント高まったが、9月期に再び8.5ポイント悪化。12月期は再びプラスに転じる見込み。また収益D Iは同年6月期に令和元年12月期ぶりのプラス値となったが、9月期に再び悪化。そのほかのD Iも令和5年9月期は6月期に比べて軒並み悪化している一方、来期(12月期)に改善が期待されている。

今年12月期の景況感は、製造業、小売業におけるD I値のマイナスが予想されるものの、同業種を含めて軒並み9月期からは改善が見込まれており、年末の需要が期待されている。

景況天気図

時期 業種名	令和3年	令和4年				令和5年				見通し
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	
全体 331(100%)										
製造業 95(29%)										
卸売業 48(15%)										
小売業 60(18%)										
サービス業 44(13%)										
建設業 54(16%)										
不動産業 30(9%)										

D.I.= ← ▲30.0以下 ▲30.0~ ▲10.0未滿 ▲10.0~ +10.0未滿 +10.0~ +30.0未滿 +30.0以上 →

低調 (大雨) (小雨) (曇り) (晴れ) (快晴) 好調

『業況』

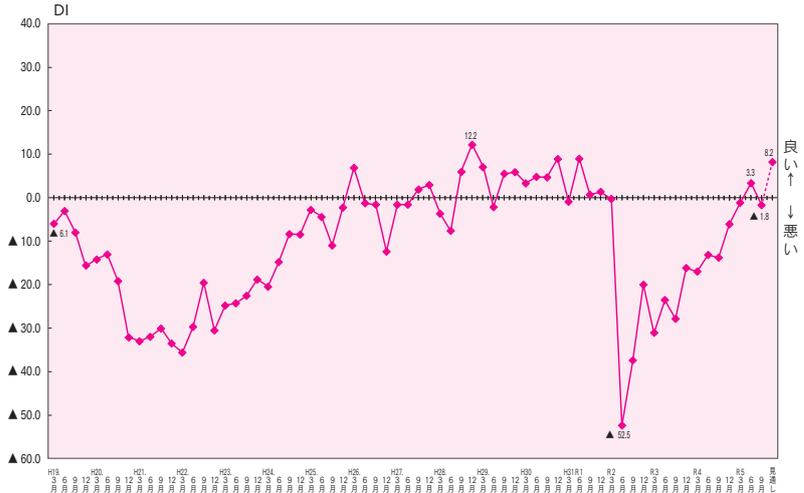
6月期は業況感が3年ぶりにプラス値に

業況判断D Iは、本年6月期が3.3と久しぶりのプラス値に。9月期には再び▲1.8となり、一進一退。

一方で、前年同期比では大きく改善。6月期・9月期のいずれも前年同期比で10ポイント超改善し、コロナ期を脱し、ウィズ/ポストコロナ期への移行がD I 値の推移から感じられる。

一方で小売業など業種によっては原材料価格高騰の影響を受けており、引き続き注視が必要であろう。

来期は大幅な改善が見込まれる。



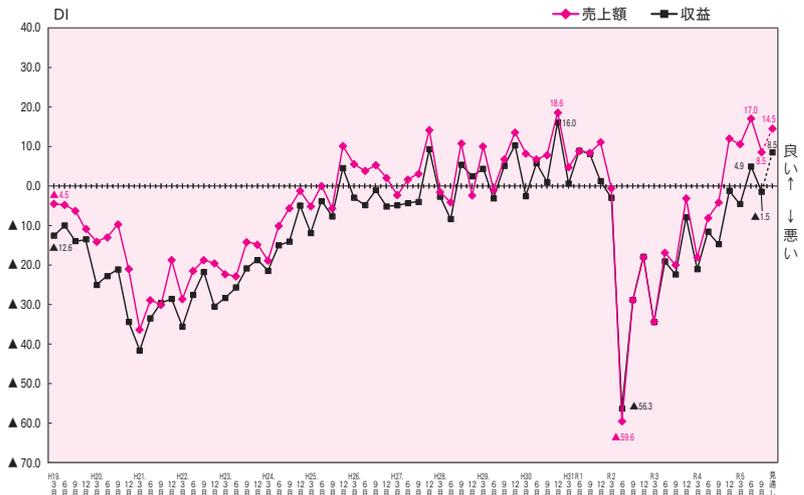
『売上額・収益』

売上額・収益ともにD I 値が改善傾向に

売上額D Iは、令和4年12月期に大きく改善して以降、堅調に推移している。特に本年6月期は、前年同期比で25ポイント高い数値となっており、9月期も同様に前年同期比10ポイント超の改善。コロナ禍前のD I 値水準まで回復しつつある。

収益D Iも傾向としては同じく、6月期に大きく改善。9月期にやや悪化しているが前年同期のD I 値水準より高い値で推移している。

来期も売上額・収益D Iともに大きく改善の見込み。



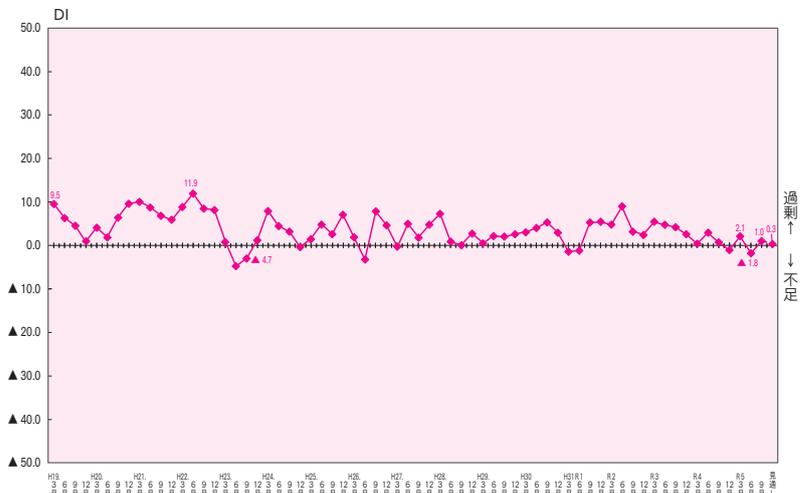
『在庫』

適正に近い在庫水準で推移の傾向が続く

6月期に在庫D Iが▲1.8となり、2期ぶりにマイナス値まで低下。ただし、ここ数年は在庫D Iが±2.5ポイント以内で推移しており、比較的安定した在庫水準となっている。

前年同期との比較においても、今期は在庫が適正に近い水準となっているとみている経営者が多いことが読み取れる。

来期も今期の過剰感がやや解消され、0.3と適正値に大きく近づく見込みである。



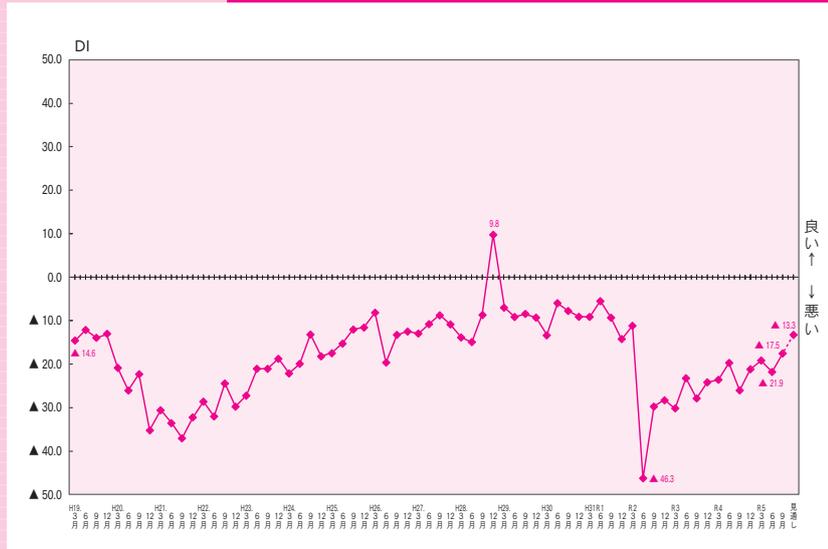
『資金繰り』

資金繰りの改善傾向が続く

本年6月期は、3月期比でやや悪化しているものの9月期に再び改善。4.4ポイント上昇し▲17.5となった。令和2年6月期をボトムとしてじりじりと改善傾向が続いている。

前年同期比では、6月期が2.2ポイントの悪化となっているが、9月期は令和4年度と比べて8.6ポイントの大幅な改善となっている。

来期は▲13.3まで改善（9月期比で4.2ポイント上昇）する見込みとなっている。



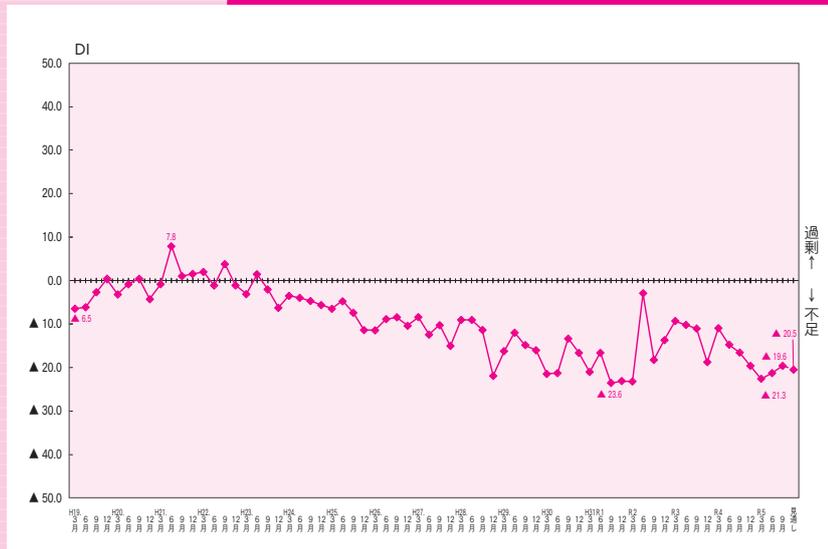
『雇用』

1～4人規模、5～9人規模で不足感強まる

雇用DIは、令和5年6月期が▲21.3、9月期も▲19.6と低い水準で推移しており、不足感が強く表れている。

前年同期と比べても、6月期・9月期ともに不足感が強まっており、コロナ禍から脱売上が上昇するにしたがって不足感が増しつつある状況が数値に表れている。

来期はDI値▲20.5と、9月期から不足感がさらに強まる見込みである。



『設備』

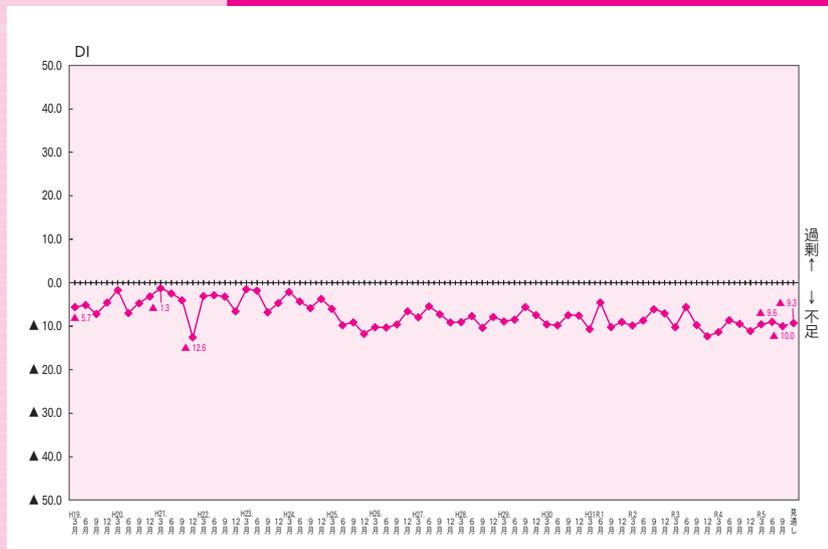
設備の慢性的な不足傾向が続く。補助金活用による設備更新を

本年6月期の設備DIが▲9.6、9月期が▲10.0と、3月期と比べてほぼ横ばい。令和4年6月期からほぼ横ばい傾向が続いており、慢性的な設備不足感が表れている。

前年同期と比較し、いずれも0.5ポイント程度の差にとどまっていることから上記の傾向が長期化しているものと思われる。

来期も同様の水準での推移にとどまることが予想されており、9月期から0.7ポイントほどの不足感解消にとどまっている。

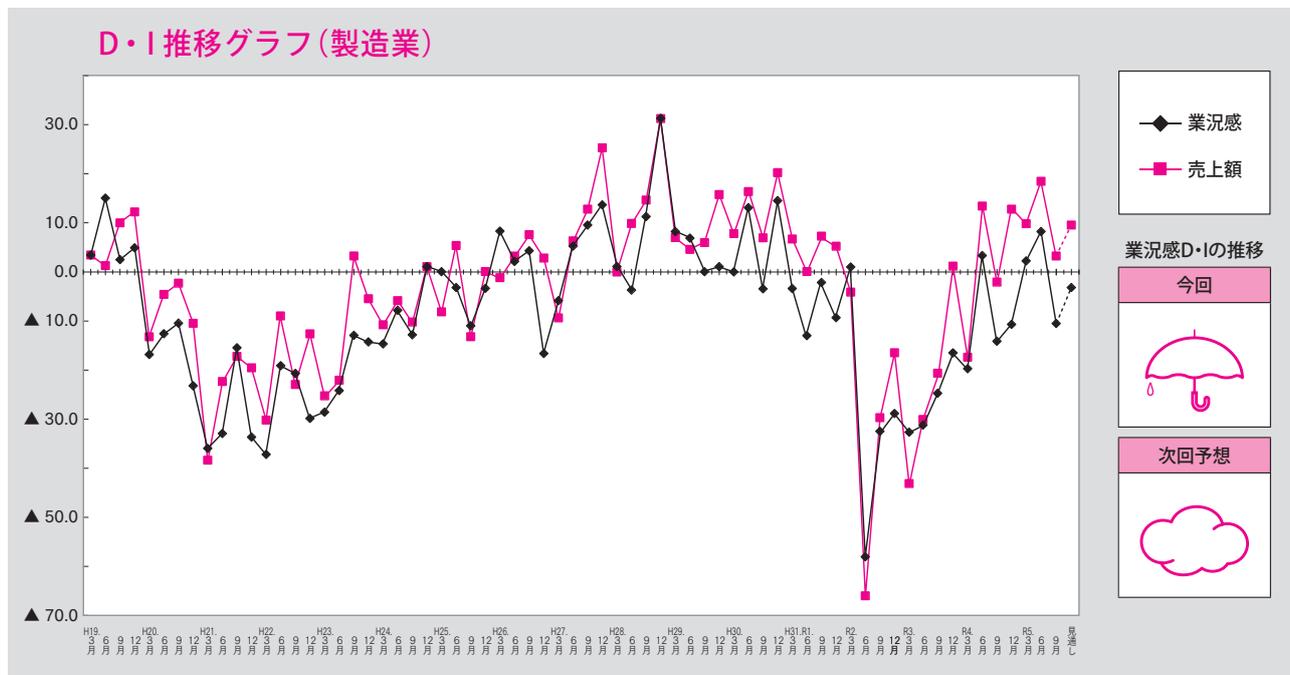
付加価値向上や競争力を高めるため、脱炭素やDXなどの補助金活用による設備更新が望まれる。



製造業

Manufacturing

6月期までD I改善が続くが、9月期は悪化



1 今期 (令和5年4-6月期・7-9月期)

業況感D Iは、本年6月期に前期比6.0ポイント改善して8.2、本年9月期に前期比18.5ポイント悪化して▲10.5となった。項目別では、売上額D Iが本年6月期に6.0ポイント改善したが、9月期に18.7ポイント悪化。そのほかの項目でも、本年6月期にD I値が改善し、翌9月期に悪化する傾向が見られる。昨年度9月期からの改善傾向に一服感が見られる。

2 来期の予想 (令和5年10-12月期)

来期の業況感D Iは、▲3.2となりD I値はマイナス水準ながら、本年9月期から比較すると7.3ポイントの回復見込みである。そのほかの項目も、本年9月期比で軒並み改善する見込みとなっており、原材料価格D Iについても上昇を予想する経営者が多い一方で、本年9月期からはややD I値が下がっている。

DI値の推移 (過去1年と3カ月後の予想)

	R 4. 9月期	R 4. 12月期	R 5. 3月期	R 5. 6月期	R 5. 9月期	来期 見通し
業況感	▲ 14.1	▲ 10.6	2.2	▲ 8.2	▲ 10.5	▲ 3.2
売上額	▲ 2.2	12.8	9.8	18.4	3.2	9.5
収益	▲ 16.3	▲ 4.3	▲ 2.2	3.1	▲ 7.4	▲ 1.1
販売価格	22.8	35.1	35.9	37.8	29.5	23.2
原材料価格	54.3	72.3	66.3	69.4	57.9	51.6
在庫	1.1	▲ 4.3	3.3	3.1	1.1	1.1
資金繰り	▲ 23.9	▲ 20.2	▲ 17.4	▲ 18.4	▲ 24.2	▲ 23.2
人手	▲ 21.7	▲ 22.3	▲ 22.8	▲ 19.4	▲ 13.7	▲ 10.5
設備状況	▲ 15.2	▲ 17.0	▲ 10.9	▲ 14.3	▲ 13.7	▲ 13.7

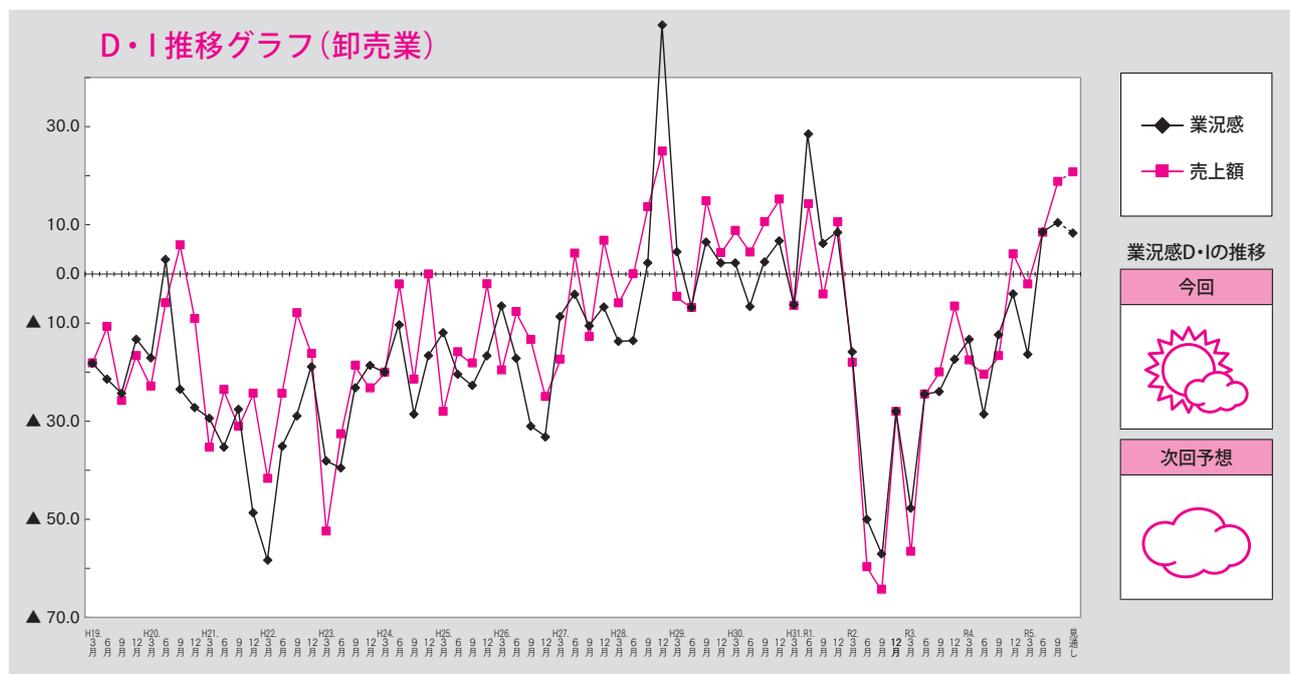
業況調査メモ

鹿児島県の2022年度農林水産物輸出額は前年度比5%増の327億4500万円で、2年連続で最高額を更新した。県は17年度策定の県農林水産物輸出促進ビジョンで25年度までの輸出目標を当初300億円としていたが、これを500億円に引き上げた。しかし、今年8月下旬の東京電力福島第1原発処理水の海洋放出で中国が日本産水産物の禁輸、中国国内での加工、調理、販売を禁じる対抗措置を打ち出した。本県の22年度の中国・香港向け水産物輸出は養殖ブリなど農林水産物全体の3%程度。ただ、影響は日本産食品全体に広がる可能性があり、500億円目標達成は微妙となってきた。

卸売業

Wholesale trade

業況感D Iの 改善傾向が続く



1 今期 (令和5年4-6月期・7-9月期)

業況感D Iは、本年6月期に前期比24.8ポイント改善し8.5、本年9月期に6月期比で1.9ポイント改善し10.4となり、2期連続で上昇した。

売上額・収益D Iも本年6月期・9月期ともにD I値が改善している。販売価格D Iについては6月期に上昇、9月期やや低下しているが、在庫D Iの改善や、仕入価格D Iが3期連続で下降しており、結果として6月期・9月期のD I値の改善につながったものと思われる。一方で人手の不足感が強く表れている。

2 来期の予想 (令和5年10-12月期)

来期の業況感D Iは8.3とやや悪化が予想されているものの、プラスの水準を維持していく予想となっている。販売価格は引き続き低下。仕入価格も同様に低下するとみられており、売上額D I、収益D Iはともに9月期をわずかに上回ることが期待されている。

在庫は悪化見込みであるが、資金繰りは改善。

DI値の推移 (過去1年と3カ月後の予想)

	R 4. 9月期	R 4. 12月期	R 5. 3月期	R 5. 6月期	R 5. 9月期	来期 見通し
業況感	▲ 12.5	▲ 4.1	▲ 16.3	8.5	10.4	8.3
売上額	▲ 16.7	4.1	▲ 2.0	8.5	18.8	20.8
収益	▲ 16.7	▲ 12.2	▲ 20.4	▲ 2.1	18.8	20.8
販売価格	18.8	44.9	42.9	44.7	31.3	22.9
仕入価格	43.8	69.4	63.3	61.7	47.9	37.5
在庫	8.3	0.0	2.0	4.3	0.0	▲ 2.1
資金繰り	▲ 25.0	▲ 20.4	▲ 30.6	▲ 40.4	▲ 20.8	▲ 8.3
人手	▲ 14.6	▲ 8.2	▲ 20.4	▲ 17.0	▲ 22.9	▲ 22.9
設備状況	▲ 8.3	▲ 6.1	▲ 10.6	▲ 2.1	▲ 8.3	▲ 6.3

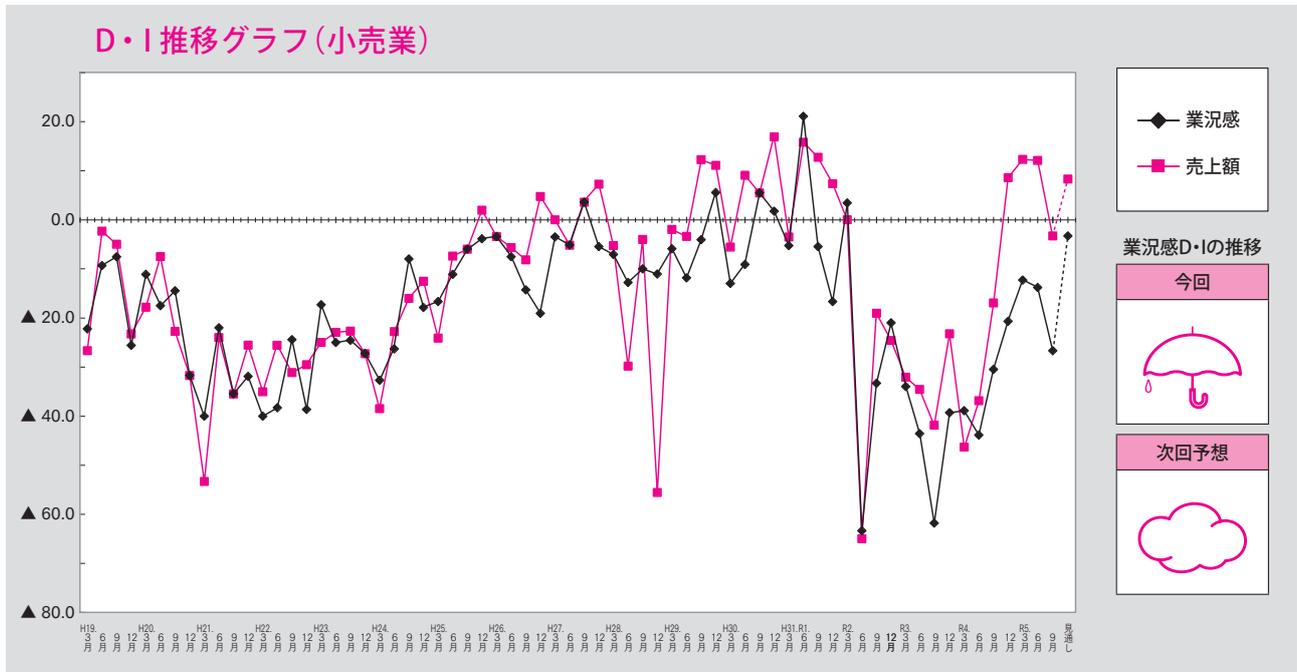
業況調査メモ

東京・有楽町にある鹿児島県のアンテナショップ「かごしま遊楽館」1階の売り場一角に新商品の試験販売コーナーが設けられている。県内業者の新商品を毎月の選定委員会で審査し、採用されると1カ月間試験販売される。試験販売中に売れ行きの良い商品はそのまま継続販売される。試験販売後も継続販売されるのは半分程度で、その後も売れ行き次第で販売終了となる。販売終了後も製造・販売元に客の反応をフィードバックし、商品開発についてアドバイスするなどフォローも忘れない。首都圏の消費者ニーズが読み取れる遊楽館は本県製造・販売業者にとって商社的存在でもある。

小売業

Retail trade

業況感D Iのマイナス続くが 来期改善が期待される



1 今期 (令和5年4-6月期・7-9月期)

業況感D Iは、6月期・9月期ともに悪化した。6月期は本年3月期比で1.5ポイント悪化。翌9月期は6月期に引き続き12.9ポイント悪化した。売上額D Iも6・9月期で続けて悪化し、3月期から15.6ポイント悪化している。収益D Iは、6月期やや改善したものの9月期に大きく悪化。6月期比で21.7ポイント悪化して▲21.7となり、令和4年9月期並の低水準となった。

販売価格・仕入価格の上昇については一服感がみられる。

2 来期の予想 (令和5年10-12月期)

来期の業況感D Iは、▲3.3の予想であり、いまだマイナス値ながら、9月期比で23.4ポイントと大幅な改善が見込まれている。コロナ禍以降、業況感のD Iが継続してマイナス水準であるのは小売業のみとなっており、早期の改善が期待される場所である。

販売価格D Iは横ばい。仕入価格は再び大きく上昇する予想となっているが、売上額や収益、仕入価格については改善が見込まれている。

DI値の推移 (過去1年と3カ月後の予想)

	R 4. 9月期	R 4. 12月期	R 5. 3月期	R 5. 6月期	R 5. 9月期	来期 見通し
業況感	▲ 30.5	▲ 20.7	▲ 12.3	▲ 13.8	▲ 26.7	▲ 3.3
売上額	▲ 16.9	8.6	12.3	12.1	▲ 3.3	8.3
収益	▲ 25.4	▲ 13.8	▲ 3.5	0.0	▲ 21.7	1.7
販売価格	10.2	32.8	40.4	55.2	36.7	31.7
仕入価格	59.3	65.5	70.2	69.0	23.3	46.7
在庫	5.1	6.9	5.3	0.0	1.7	1.7
資金繰り	▲ 44.1	▲ 29.3	▲ 36.8	▲ 31.0	▲ 33.3	▲ 20.0
人手	▲ 11.9	▲ 13.8	▲ 10.5	▲ 25.9	▲ 16.7	▲ 23.3
設備状況	▲ 6.8	▲ 10.3	▲ 1.8	▲ 5.2	▲ 5.0	▲ 3.3

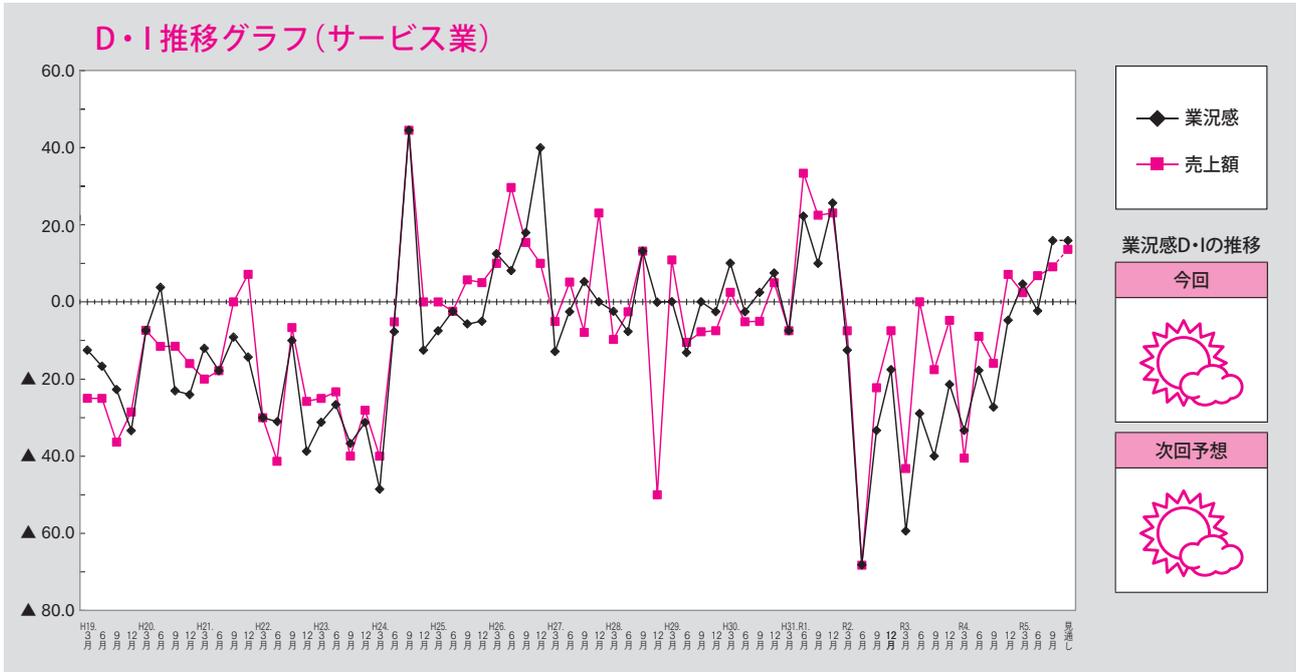
業況調査メモ

鹿児島市の2022年10月時点の主要商店街歩行者通行量調査によると、JR鹿児島中央駅周辺がコロナ禍前（18年10月）に比べて土曜日で11%減、日曜日で16%減なのに対し、天文館はそれぞれ17%減、24%減とコロナ禍の影響は大きい。天文館は、以前は電車通りを挟んで山側がアパレル、海側が飲食中心の店舗構成だったが、現在は山側も飲食が増え、アパレルが減少している。「昔の天文館はファッションの街として吸引力が顕著だった。今はアパレルはインターネットでも買えるし、加えて店舗の分散化で厳しい」と天文館の老舗アパレル経営者。食は客がその場に出向かないと需要を満たせないだけに強い。

サービス業

Service industry

業況感・売上額ともに プラス傾向続く



1 今期 (令和5年4-6月期・7-9月期)

6月期に業況感D Iが落ち込み前期比7.0ポイント悪化したものの、9月期には再び持ち直し、6月期比18.2ポイント改善してD I値は15.9となった。売上額D Iは6月・9月期ともに改善。収益D Iは6月期に大きく改善したのち、9月期にやや低下した。

料金価格D Iは横ばい、またはやや低下の傾向が続いているのに対し、材料価格D Iは高い水準で推移している。人手の不足感は根強いが、全体としては資金繰りなど改善傾向にある。

2 来期の予想 (令和5年10-12月期)

来期の業況感D Iは、15.9と横ばいが予想されている。売上額D Iは令和5年3月期から引き続き上昇が見込まれている。

材料価格の上昇も一服感が期待されており、その結果収益D Iも改善見込みとなっている。人手の不足感が強く、設備不足とあわせて人手の確保が課題である。

DI値の推移 (過去1年と3カ月後の予想)

	R 4. 9月期	R 4. 12月期	R 5. 3月期	R 5. 6月期	R 5. 9月期	来期 見通し
業況感	▲ 27.3	▲ 4.8	4.7	▲ 2.3	15.9	15.9
売上額	▲ 15.9	7.1	2.3	6.8	9.1	13.6
収益	▲ 29.5	4.8	▲ 7.0	▲ 2.3	▲ 4.5	11.4
料金価格	18.2	26.2	25.6	18.2	13.6	11.4
材料価格	50.0	50.0	55.8	47.7	47.7	43.2
在庫	-	-	-	-	-	-
資金繰り	▲ 38.6	▲ 21.4	▲ 11.6	▲ 11.4	▲ 4.5	▲ 4.5
人手	▲ 11.4	▲ 23.8	▲ 20.9	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 27.3
設備状況	▲ 6.8	▲ 11.9	▲ 18.6	▲ 4.5	▲ 9.1	▲ 11.4

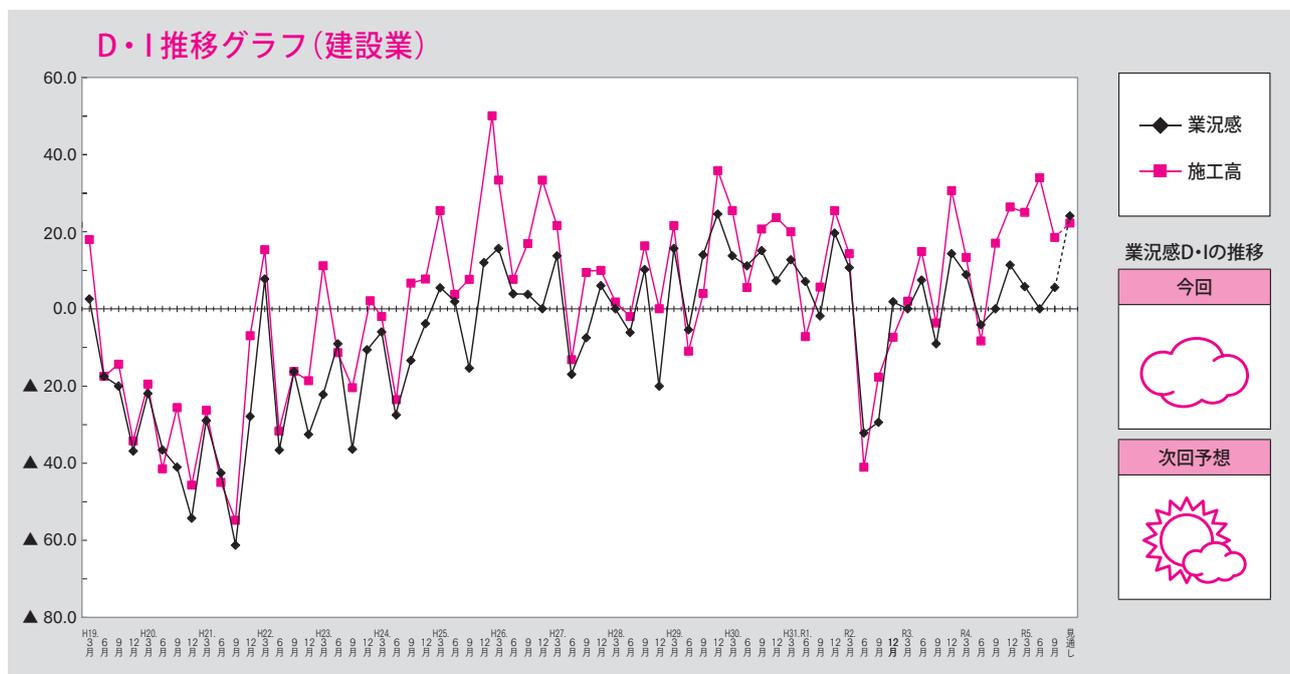
業況調査メモ

少子化の背景には諸事情で結婚をためらう若者の増加がある。昔は親戚や地域に世話好きの女性だったが、現代は結婚相談所がその役割を担っている。地元の「縁サポートJin」は、婚活に動きづらい雰囲気がある中で国分とJR鹿兒島中央駅前の繁華街に相談所を開設するなど婚活文化の普及・定着にチャレンジ。プロポーズまでカウンセラーが丁寧にサポートし、成婚率は約7割に上るといふ。合計特殊出生率は1.3程度と減少の一途だが、既婚者の平均出生児数である完結出生児数は1970年代の2程度で横ばいを続ける。少子化対策は結婚に踏み切れない若者を後押しすることこそ有効な手立てといえる。

建設業

Construction industry

業況感底堅いが、 材料価格D Iの高止まりが続く



1 今期 (令和5年4-6月期・7-9月期)

コロナ禍においても底堅い業況感を示している建設業であるが、公共工事が落ち着きを見せる6月期にD I値がやや低下。5.8ポイント悪化しているもののD I値としては0.0と底堅い。また9月期はやや改善した。

施工高、収益、請負価格ともに6月期でやや上昇し、9月期に落ち着きを見せている。

一方で、材料価格D Iは依然として高止まりをつづけており、9月期にはD I値72.2と他の業種と比べても非常に高い水準となっている。好調な業況感の一方で、資金繰りが低い水準となっており、また人手の不足感も強くなっている。

2 来期の予想 (令和5年10-12月期)

来期の業況感D Iは、年末の公共工事の発注等の影響からか、本年9月期から18.5ポイント改善し、D I値24.1まで上昇することが予想されている。ただし、人手の不足感も強まっており、工事の増加とともに人手不足が顕在化していくことが懸念される。

DI値の推移 (過去1年と3カ月後の予想)

	R 4. 9月期	R 4. 12月期	R 5. 3月期	R 5. 6月期	R 5. 9月期	来期 見通し
業況感	0.0	11.3	5.8	0.0	5.6	24.1
施工高	17.0	26.4	25.0	34.0	18.5	22.2
収益	1.9	15.1	3.8	7.5	5.6	14.8
請負価格	15.1	37.7	28.8	34.0	29.6	22.2
材料価格	75.5	79.2	75.0	69.8	72.2	59.3
在庫	▲ 5.7	▲ 3.8	▲ 5.8	11.3	0.0	1.9
資金繰り	▲ 24.5	▲ 20.8	▲ 7.7	▲ 26.4	▲ 9.3	▲ 9.3
人手	▲ 22.6	▲ 34.0	▲ 46.2	▲ 24.5	▲ 31.5	▲ 37.0
設備状況	▲ 5.7	▲ 5.7	▲ 7.7	▲ 13.2	▲ 11.1	▲ 9.3

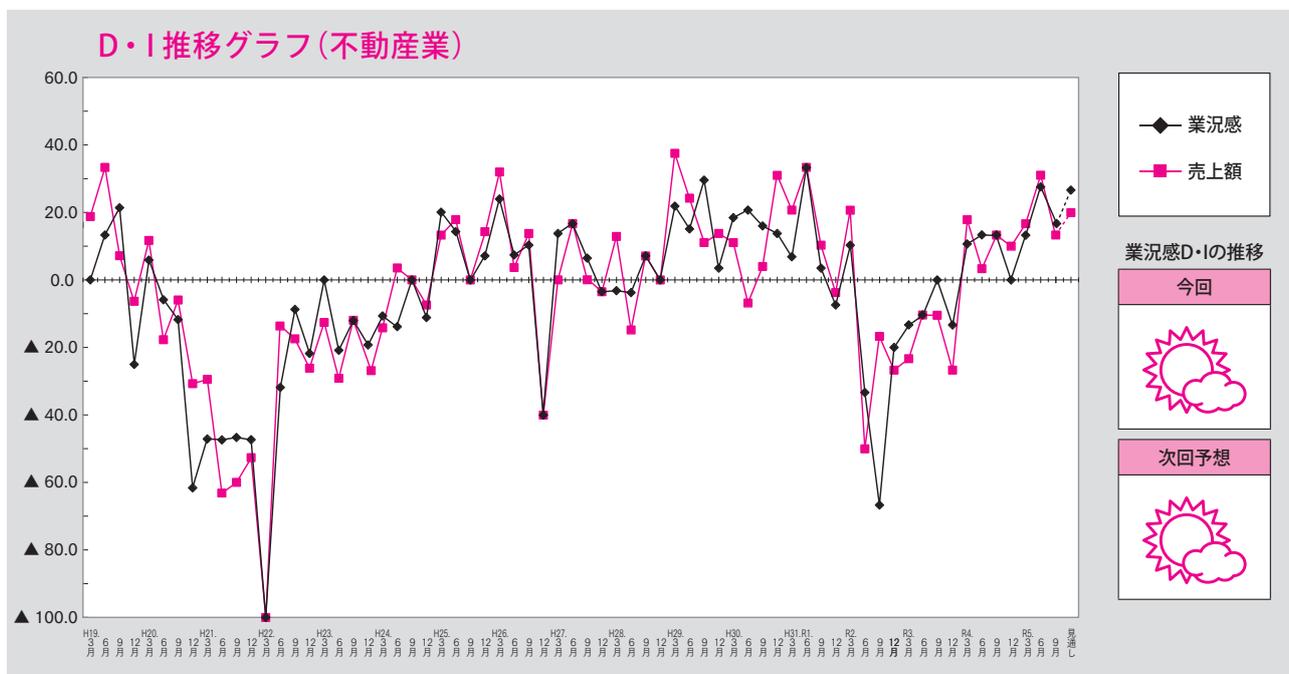
業況調査メモ

最近では鹿児島市郊外の大型住宅団地で夫婦2人だけの高齢者世帯が増え、家建てを替えるケースが増えている。その際、2階建てを平屋に変え、床面積や部屋数を減らした住宅が好まれる。住宅政策の指針として国交省が定めた「住生活基本計画」によると、健康で文化的な住生活を営むために必要不可欠な「最低居住面積水準」は、単身者25㎡、2人以上世帯で25㎡×世帯人数(10歳未満は0.25~0.75として換算)。若い世帯も最近では平屋建てのコンパクトな家を好む傾向が見られるようだ。それほど広くなくても間取りや造りに工夫を凝らし、開放的で快適に暮らせる家づくりが求められている。

不動産業

Real estate industry

業況は一進一退しつつ 上向きで推移



1 今期 (令和5年4-6月期・7-9月期)

本年6月期は業況感D Iが3月期から14.3ポイント上昇。9月期に入ってやや低下した(9月期D I:16.7)。売上額や収益D Iも同様に6月期に上昇し、9月期にやや悪化している。特に収益D Iは、3月期比で37.9ポイントもの大幅な上昇を示したが、9月期に21.2ポイント悪化した。人手の不足感も、他の業種に比べるとやや低い水準となっており、資金繰りについてもプラスのD I値で推移している。

2 来期の予想 (令和5年10-12月期)

来期の業況感D Iは、9月期と比べてプラス10.0ポイント26.7と上昇する予想。売上額D Iも同様の傾向であり、収益・販売価格・仕入れ価格は横ばいの予想となっている。

人手も不足感が弱まる予想。在庫の過剰感がわずかに上昇している。

DI値の推移 (過去1年と3カ月後の予想)

	R4.9月期	R4.12月期	R5.3月期	R5.6月期	R5.9月期	来期見通し
業況感	13.3	0.0	13.3	27.6	16.7	26.7
売上額	13.3	10.0	16.7	31.0	13.3	20.0
収益	6.7	13.3	0.0	37.9	16.7	16.7
販売価格	30.0	23.3	30.0	24.1	30.0	30.0
仕入価格	30.0	36.7	20.0	20.7	30.0	33.3
在庫	▲ 10.0	▲ 3.3	6.7	▲ 13.8	3.3	▲ 3.3
資金繰り	16.7	▲ 10.0	▲ 3.3	6.9	6.7	3.3
人手	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 10.3	▲ 10.0	▲ 3.3
設備状況	-	-	-	-	-	-

業況調査メモ

鹿児島市の多機能複合型サッカースタジアム構想が“漂流”している。有識者らによる検討協議会が2019年に選定した鹿児島港本港区のドルフィンポート跡地と住吉町15番街区、浜町バス車庫の3カ所は候補地から消え、現在は本港区北ふ頭に整備する方針に転換している。しかし、北ふ頭への整備は課題が多い。現在の喜界・奄美航路のフェリーの発着港としてターミナルビルや貨物倉庫の移転が可能なのか、駐車場スペースが確保できるのか。鹿児島市は年内にも課題解決の方策を示したいとしているが、近接する天文館地区の商店街関係者からは北ふ頭への整備を疑問視する声が聞かれる。

カーライフに関する全ての資金に!



WEB
申込み対応

そうしん

カーライフ プランI



新車・中古車・バイクの購入や車検・運転免許取得費用、**借換え**にも!



最優遇金利 (固定金利)

店頭表示金利 (固定金利)

年 **1.70%** ~

年 **2.60%**

ご融資
金額 1,000万円以内

ご融資
期間 10年以内

※表示の金利はいずれも保証料を含みます。

《最優遇金利の適用には以下の要件を満たす必要があります。》

金利優遇

※ご利用には各種条件がございます。



1 カードローン同時成約の方もしくは
ご契約中の方(極額50万円以上)

2 インターネット申込み
をされた方

<https://www.shinkin.co.jp/kasosin/personal/loan/carlife/plan1.html>



ご利用 いただける方	<ul style="list-style-type: none"> ■当金庫の営業地区内に居住または勤務されている方。 ■申込時年齢が満18歳以上の方。※インターネット申込みの場合は、満20歳以上の方。 ■安定継続した収入がある方。 ■(一社)しんきん保証基金の保証が受けられる方。
お支払い	<ul style="list-style-type: none"> ■お申込人本人またはお申込人の家族が使用する自家用自動車やオートバイ、自転車(電動アシスト自転車、ロードバイク、クロスバイク等)の購入費用。 ■車検・修理費用、自動車のパーツ・オプション購入費用など。 ■自動車保険費用、自動車免許取得費用、車庫設置費用など。 ■お申込人が自動車関連資金を用途として金融機関や自動車メーカー系を含む信販会社等から借り入れたローンの借換え資金。 ※事業用自動車の購入費用や個人間売買による購入費用等は対象外です。
ご融資金額	1万円以上 1,000万円以内(1万円単位)

ご融資期間	3か月以上10年以内(1か月単位)
ご返済方法	毎月元利均等返済 ※貸付金額の50%以内につき、6か月毎のボーナス返済の併用もできます。
保証料	金利に含まれております。
担保・保証人	(一社)しんきん保証基金が保証しますので不要です。
必要書類	<ul style="list-style-type: none"> ■ご本人確認資料(運転免許証等) ■資金用途確認資料(写)見積書・契約書 ■年収が確認できる書類(申込金額が100万円を超える場合) ■その他保証会社が必要と認めた書類

※審査の結果によっては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(R4.11)

0120-197-005

受付時間/AM9:00~PM5:00(月曜~金曜まで、祝日を除く)

ホームページ <https://www.shinkin.co.jp/kasosin/>
または、お近くの【そうしん】本支店窓口へご相談ください。

